

みなさまと一緒に

CRC
社会連携推進センター

with

Vol.
0

2019.03

創刊準備号

北見工業大学 社会連携推進センター ニュースレター [ウィズ]

＊ニュースレター発行のごあいさつ＊

社会連携推進センターでは、新たにニュースレターを発行することといたしました。地域をはじめとする社会の発展を目指し、これまで以上に本学と当センターの広報活動を充実させることを目的としています。社会連携推進センターのニュースレター発行に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

本学が地域・社会に貢献していくためには、共同研究、受託研究などの推進のみならず、創出した研究成果や知的財産を研究者間の交流や地域との連携・協力を通じ、社会に還元していくことが大切です。それによりはじめて当センターひいては北見工業大学は地域社会の発展に寄与しオホーツクに存在する価値を発揮することができるのだと考えております。本ニュースレターは、それらの取組みを支える皆様との貴重な情報共有ツールとして機能させていただきます。

本学は昨年7月に、「オホーツク農林水産工学連携研究推進センター、通称 CAFFE（カフェ）」を立ち上げました。社会連携推進センターではこれまでも、「第1次産業の工業化」を謳い関連する種々工学支援を進めて参りましたが、本学はCAFFEの設立により、地域の特色を活かした第1次産業への工学支援をさらに幅広く積極的に行う体制を整えたこととなります。コアとなる技術の創出・研究活動はCAFFEが担い、その事業化・商品化に向けた支援は社会連携推進センターが担います。

これまで同様、皆様と大学とを結ぶ窓口は社会連携推進センターがワンストップの考え方で務めますので、どんなことでも遠慮なく気軽に当センターにご相談いただければと思います。ニュースレターではこのCAFFEだけでなく冬季スポーツや防災関連の研究センター・研究ユニットなどについても取り上げ、皆様により活かしていただけるようしっかりと広報して参ります。

今後とも、皆様のご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年3月 社会連携推進センター長・教授 有田 敏彦



— CONTENTS —

- ★ 巻頭言
ニュースレター発刊のごあいさつ
- ★ 社会連携推進センターの役割・機能
- ★ トピックス
 - ◆ 社会連携推進センター設備（低温室）
 - ◆ 工学連携型地域6次産業人材育成事業
 - ◆ 技術広報活動



社会連携推進センター（CRC）外観

★ 社会連携推進センターの役割・機能

社会連携推進センター（Center for Regional Community ,CRC）は、北見工業大学の「地域連携・社会貢献」、「共同研究推進・研究支援」の推進を目的とし、大学が有する研究シーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口やコーディネート機能など、種々の社会貢献活動を担う産学官連携活動を推進するセンターです。

産学官連携活動はマッチング・技術広報イベントへの参加や、セミナー・シンポジウムの開催など、多岐にわたります。また、地域の自治体との連携強化や、講義やワークショップを通じた学生と企業が交流する場を設けるなど、大学と地域をつなぐ取り組みも積極的に行っています。

産学官連携活動の総合的な窓口

社会連携推進センターは、北見工業大学の産学官連携活動を通じた社会貢献を担うセンターとして、主に以下8点に係る活動を推進しています。

すべての産学官連携活動の窓口としてご利用ください。

- 社会との連携協力事業に関すること
- 地域貢献事業に関すること
- 企業等からの技術相談に関すること
- 企業等との共同研究等の推進に関すること
- 企業等との技術者に向けた高度技術教育の実施、協力及び援助に関すること
- 教育・研究成果の地域への還元に関すること
- 地域活性化の中核的拠点としての北見工業大学の機能強化に関すること
- その他、地域貢献に関すること



産学官連携支援機関の活動拠点

社会連携推進センターが構える建屋には、国や自治体が運営する産学官連携支援機関が入居しています。産学官連携活動の発展・推進に向けたフェイス・トゥ・フェイスの関係を維持・強化できる環境の実現が目的です。

【入居機関】

- ・オホーツク産学官融合センター
- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部北見オフィス
- ・北海道知的財産情報センター北見サテライト



こんなとき、ぜひご相談ください！

- ・大学と企業が共同で行った取り込みや研究について知りたい
- ・〇〇の研究をしている教員を紹介してほしい
- ・大学と自分の会社が連携してどんなことができるか相談したい
- ・〇〇について大学に相談したいが問合せの窓口がわからない



ご相談は**無料**です。まずはお気軽にお問合せください。

<http://www.crc.kitami-it.ac.jp/contact/>

★ 社会連携推進センター設備（低温室）

産学官連携活動の機能を有する社会連携推進センターの建屋には、北海道北見市という地の利を活かした特徴ある設備が整備されています。設備のひとつとして低温室をご紹介します。

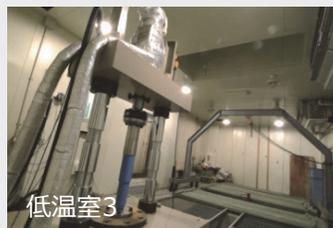
低温室は3つ設置されています。



低温室 1



低温室 2



低温室 3

広さ 60m²
マイナス30℃までの低温を再現可能
深さ2.5mのピット
荷装置
クレーンなどを擁する
大型多機能施設
(低温室3)

マイナス50℃までの環境をシミュレート（低温室1および2）

これらの低温室では、北見工業大学ならではの様々な寒冷地研究が行われています。

これまでに「低温室」を活用し取り組まれている研究

- ◆ **寒冷地のコンクリート施工の研究**
寒冷地でのコンクリートの施工や耐久性の研究
- ◆ **寒冷地橋梁構造の研究（写真①）**
寒冷地対応のゴム支持材料の研究
- ◆ **カーリングストーン軌道の研究（写真②）**
カーリングストーンが曲がるメカニズムを解明
- ◆ **送電線着氷雪対策の研究**
送電線への着氷雪防止・除去技術、碍子の絶縁、破壊防止技術を研究
- ◆ **南極氷床深層掘削機の開発（写真③）**
「南極ドームふじ基地」で使われた地球の気候変動を解明するための氷床コア掘削機を開発



写真①



写真②



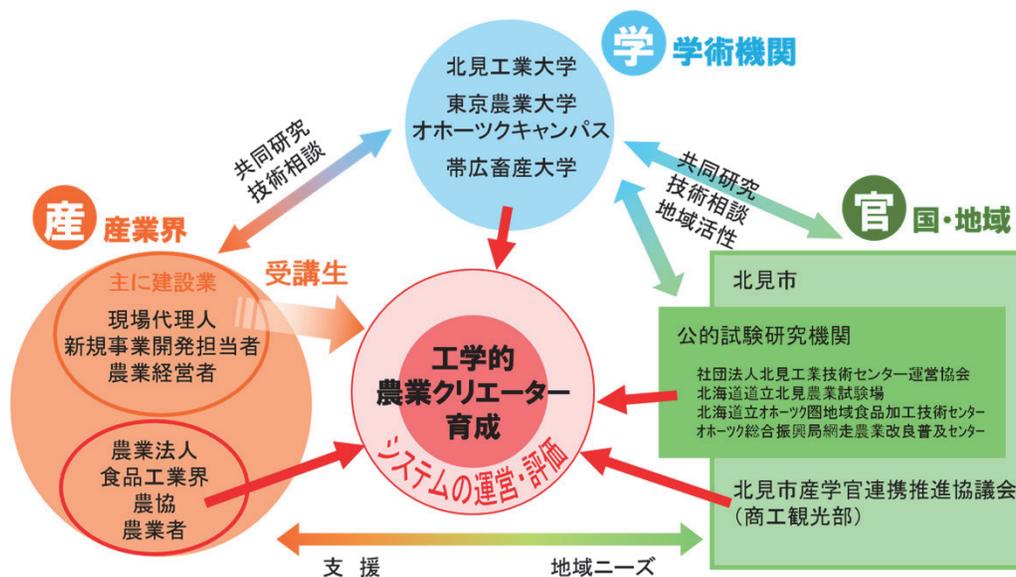
写真③

★ 工学連携型地域6次産業人材育成事業

北見工業大学では、地域貢献活動のひとつとして、地域に生きる人材・地域が必要とする人材育成を地域の産業界、自治体との連携により進めています。「工学連携型地域6次産業人材育成事業」は、社会連携推進センターが中心となって平成18年度から行っている人材育成事業です。この事業は、当時の文部科学省科学技術総合研究委託地域再生人材創出拠点形成「新時代工学的農業クリエーター人材創出プラン」として取り組み始めました。本事業は、地域の土木・建設業者、農業従事者等を主な対象とし、第1次産業製品の工業化・作物生産の効率化・新規作物の商品化システム等といったビジネスモデルを企画する「工学的農業クリエーター」の育成を目的としています。

毎年1月には、北見駅前の商業施設で受講生による成果報告や開発商品の試食・販売などを行っています（地域を彩る食物語）。

工学的農業クリエーター人材育成体制



地域を彩る食物語会場での受講生により開発された商品の試食・販売



平成29年度に受講生が開発した「ぶりスモーク」
写真提供：北見市雇用創造協議会

★ 技術広報活動

社会連携推進センターでは、北見工業大学が有する技術の幅広い社会還元の実現と、北見工業大学の存在価値向上を目指し、積極的な技術広報活動を推進しています。北海道に限らず、全国で開催される国や地方自治体などが主催する「技術紹介セミナー」や「シーズ・ニーズのマッチングイベント」に年間10～15回参加しています。そのほか、各産学官連携支援機関が発行する「研究シーズ集」などへも参画しています。本活動は多くの方々に北見工業大学を知っていただく機会となっており、共同研究や教育活動などに繋がっています。

2018年度の主な技術広報活動

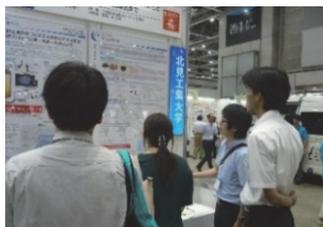
- ◆ **北洋銀行ものづくりテクノフェア2018（札幌、7月20日）**
北洋銀行主催のマッチングイベント。本学2件出展。
- ◆ **イノベーション・ジャパン2018～大学見本市～（東京、8月30日～31日）**
国内最大規模の産学マッチングイベント。本学3件出展。
- ◆ **Matching HUB Sapporo 2018（札幌市、9月20日）**
小樽商科大学主催の産学マッチングイベント。本学3件出展。
- ◆ **Bio Japan 2018（横浜、10月10日～12日）**
アジア最大級のバイオビジネス関連パートナーリングイベント。本学1件出展。
- ◆ **自動車技術会2018年秋季大会産学ポスターセッション（名古屋、10月17日～19日）**
自動車技術会主催のポスターセッション。本学2件出展。
- ◆ **メッセナゴヤ2018（名古屋、11月7日～10日）**
日本最大級の異業種交流展示会。本学1件出展。
- ◆ **ビジネスEXPO「第32回 北海道 技術・ビジネス交流会」（札幌、11月8日～9日）**
北海道最大級のビジネスイベント。本学1件出展。
- ◆ **2018アグリビジネス創出フェア in Hokkaido（札幌、11月16日～17日）**
北海道の食と農業に関する技術交流展示会。本学1件出展。
- ◆ **アグリビジネス創出フェア2018（東京、11月20日～22日）**
全国の産学機関の農林水産・食品分野における技術交流展示会。本学1件出展。
- ◆ **地域を彩る食物語（北見、1月9日～14日）**
北見市産学官連携推進協議会主催のイベント。本学1件出展。
- ◆ **オホーツク・スマート農業セミナー2019【畑作】（北見、1月17日）**
オホーツク・スマート農業推進会議主催のセミナー。本学2件出展。



北洋銀行ものづくりテクノフェア



アグリビジネス創出フェア2018



イノベーション・ジャパン2018



メッセナゴヤ2018



地域を彩る食物語



オホーツク・スマート農業セミナー2019



北見工業大学 社会連携推進センター

〒090-0013
北海道北見市柏陽町603番地2
TEL : 0157-26-4161
FAX : 0157-26-4171
E-mail : chiiki@desk.kitami-it.ac.jp
URL : <http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>

大切にしている想い マークとキー・ヴィジュアル



社会連携推進センター（Center for Regional Community, CRC）は平成4年に北見工業大学の社会貢献活動を担う産学官連携部署として設立されました。CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。平成24年、CRC20周年を期に、その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「with、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。